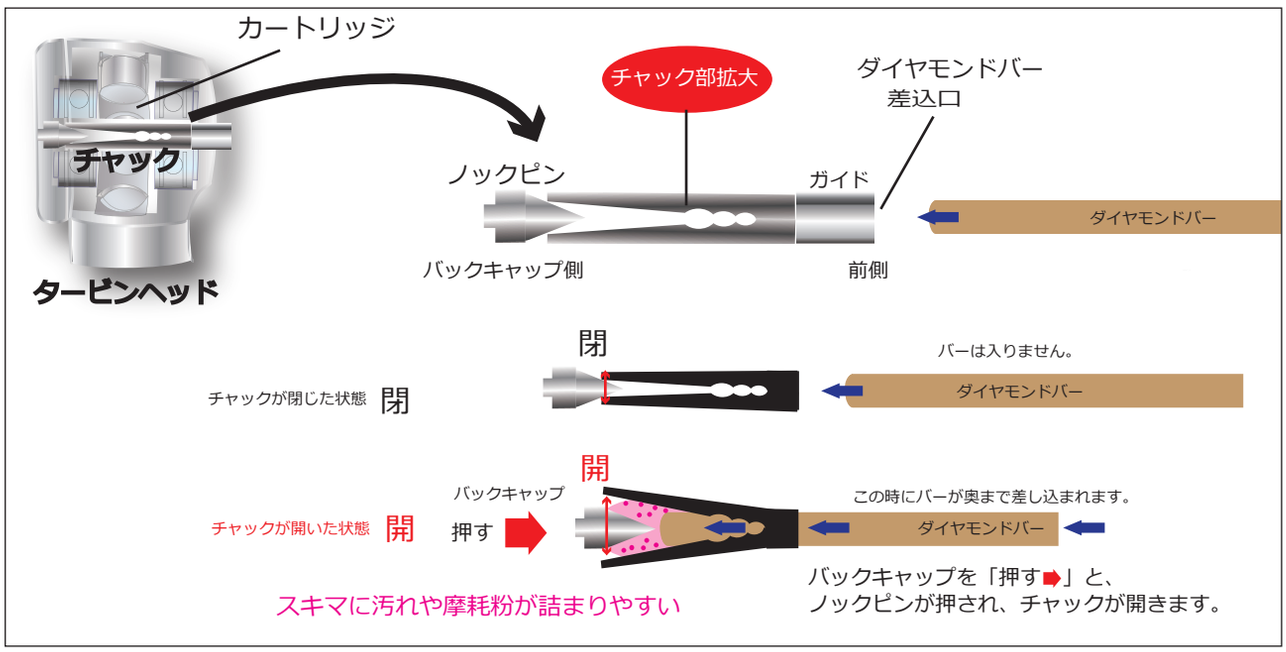
タービンジェットの仕組み

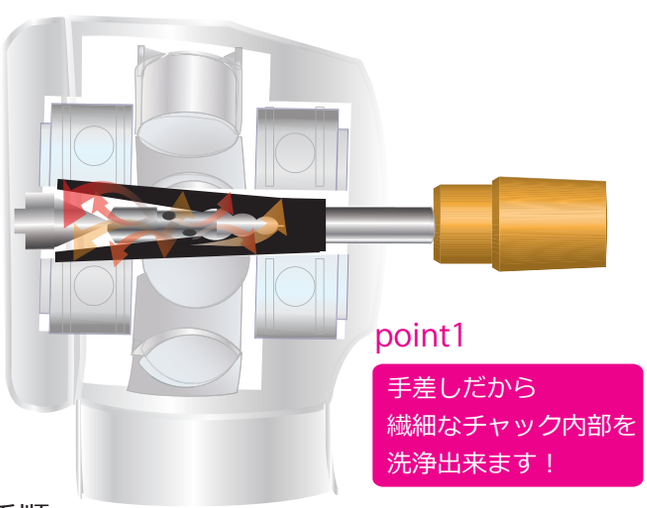
昨年の滅菌関係の出来事から、タービン・５倍速を数多く設備投資され、そろそろ一年が経過しようとしています。
ハンドピースのカートリッジ交換等も見うけられるのではないでしょうか？

チャックのメンテナンスでバーの保持力が戻ることも多いにあります。
タービンジェットをオイルスプレー缶に取り付けて頂くだけで簡単に注油ができます。正しくお使い頂くことで、バーの保持力が長持ちし、確実に修理経費削減につながります。

●チャックの構造



●タービンジェット使用時のオイルの流れ



手順

①ノズルを差し込む→チャックが開く

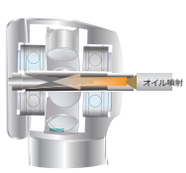
②オイルを噴霧→開いたチャック内の汚れを除去

- ●オイル１本で約 200 回使用可能
- ●使用は最低１日１回（噴射は３～５秒）
- ●専用オイルをサービス（5,500 円相当）
- ● ５倍速にも対応！

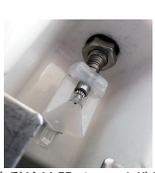
チャックが開いている時に汚れを除去

チャックが閉まっている時に注油しても食い込んでいる汚れはとれません。オイルスプレー缶に添付されている三角ノズルや、自動注油器の洗浄は全てチャックが閉じたまま行われます。

三角ノズル



チャックが閉まったまま


自動注油器チャック洗浄

タービンジェットノズルは、ほぼバーと同等のサイズです。
ノズルでチャックを開いて内部に入り込んだ汚れを根こそぎ、除去することができます。

いつもの注油は毎回、 タービンジェットでの注油は１日１回行って頂くと確実にタービン・５倍速の修理が減少します。

point2

チャックが閉まっている時
噴霧しても、チャックに
噛んでいる汚れは取れにくい！